

第6学年 社会科学学習指導案

社会科研究室

1 小单元名 「陸奥宗光・小村寿太郎と条約改正」

2 小单元の目標

日本の近代化の進展と近代化に努めた陸奥宗光や小村寿太郎の働きや、外国との関係の変化などについて関心をもち、意欲的に調べることができる。(関心・意欲・態度)

陸奥宗光や小村寿太郎が、我が国の発展に果たした役割について考えることができる。(思考・判断)

我が国の近代化や発展に努めた人々や近代化の様子について、資料や年表などを活用し、調べたことや考えたことを表現することができる。(資料活用・表現)

政治や社会の仕組みの確立、産業の発達と外国との関係の変化を通して、我が国の近代化が図られ、国力の充実や国際的地位の向上していったことを理解することができる。(知識・理解)

このような子どもだから

これまでの社会科学学習で、調べ学習において意欲的に調べ、数多くの事実を集めることはできている。しかし、学習問題と調べた事実との結びつきや事実同士がどのようにつながっているのか、事実と事実がどのように結びついているのかを考えることについては課題が残っている。

そこで、調べた事実を念入りに検討し、学習問題と調べた事実との結びつきを「整理した図」に表すことや事実同士がどのようにつながっているのか、事実と事実がどのように結びついているのかについて「考えを作り表す図」に表すことが有効であると考え。

このような教材で

本小单元は、国際的地位が向上したことを欧米の制度や文化を取り入れて国の仕組みを整えていったことによって、産業の発展や憲法の制定などの近代化によって国力が充実したことを理解することをねらっている。

そこで、条約改正に力を注いだ中心人物「陸奥宗光・小村寿太郎」を取り上げあ。

陸奥宗光は、イギリスをはじめ諸外国との間で、領事裁判権の撤廃と関税率の改正に成功するために、外国人に完全に国を開くことが維新以来の大方針であると説得し、条約の改正に成功した人物である。

小村寿太郎は、関税自主権を完全に回復した人物である。私心をもたずに国家に献身する点では誰にも負けないと自負していた人物である。

条約改正に向けて、岩倉使節団の欧米視察での諸外国との歴然とした国力の差を知ることから国力の充実が必要とされた。そのことをきっかけとして、国内では様々な発展が重要視され、政治、経済、軍事の面を中心に国力を充実させることにつながった。これらの事象はそれぞれに関連し合っており事実と整理しながら調べる必要性がある。また、明治になり調べて得る事象が増えるため図で分類しながら整理するとわかりやすくなる考える。

このような指導を

つかむ段階

学習問題に対する予想を根拠を明らかにしながらたてられるように、児童たちと共に明治時代の年表づくりを行い、明治時代の時代背景についての概要をつかませる。

さぐる段階

調べてきた事実は見やすくするために、共通したマス目入りのカードに15字以内で事実を書かせる。

事実を調べ、カードにまとめた後は、「調べた事実を整理する図」を個人で図を作成させる。

学習問題につながる事実であるかを念入りに検討するために、捉えさせたい事実の重複や漏れを確認し、全体で共通した「調べた事実を整理する図」を作成させる。

まとめる段階

学習問題に対する自分の考えを表現させるために、さぐる段階において作成した「調べた事実を整理する図」から明らかになったまとまりを使い、「考えをつくり表す図」を作成させる。

「考えをつくり表す図」を使っての交流は、他者との比較・検討を行い、図の付加・修正を行うことで自分の考えの見直しを行わせる。

検討した後の「考えをつくり表す図」をもとに、学習問題のこたえを文章で表現させる。その際、図の中で用いた言葉やまとまりを使って、それぞれの視点のまとまりを文章で表現させ、つながりや軽重についても明らかにさせていく。

3 指導計画（11 時間）

段階	配時	主な学習活動と内容	教師の支援
つかむ	3	<p>1 今まで学習した時代を振り返り,自分が願う明治時代をイメージしながら年表作りを通して幕末から明治維新についてその概要をつかむ。</p> <p>(1)不平等条約と倒幕の様子について調べる。 ・不平等条約の締結 治外法権・関税自主権 ・幕末の情勢 ・倒幕運動</p> <p>(2)明治新政府の国づくりについて調べる。 ・日本が近代化していったのだなあ。 ・外国の文化などを取り入れていったのだなあ。 ・憲法や国会ができて,国の仕組みができてきたのだなあ。 ・徴兵令などで,強い国をつくらうとしたのだなあ。</p>	<p>古代から江戸時代までを年表を提示し,時代背景を振り返らせるようにする。</p> <p>資料「外国と結んだ不平等条約」を提示し,治外法権・関税自主権などの用語について理解させる。</p> <p>条約改正への国民の願いが高まっていたことを共感的に捉えさせるために「ノルマントン号事件」の風刺画を提示する。</p> <p>時代背景をつかませるために,全体で事実を確認し,年表にまとめさせる。</p>
	1	<p>2 学習問題に対する予想を立て,調べる計画を立てる。 (1)年表をもとに話し合い,学習問題を作り,予想を立てる。</p> <p>学習問題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>陸奥宗光と小村寿太郎はなぜ条約を改正することができたのだろう。</p> </div> <p>予想 大日本帝国憲法や国会を作って,外国に認められたから。 外国と戦争で大きな国に勝利することができて,他の国に認められたから。 富岡製糸工場・八幡製鉄所を作ることができて,暮らしが安定したから 陸奥宗光や小村寿太郎の粘り強い努力 国民の条約改正を願う気持ちの高まり</p>	<p>不平等条約の改正が政府の長年の課題であった事を捉えさせるために資料「条約改正のあゆみの年表」を提示する。</p>
/ さぐ	4	<p>3 学習計画に沿って調べ,調べたことを整理する図に表す。</p> <p>(1)資料をもとに調べ,調べた事実をカードに書く。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">大日本帝国憲法</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">日清戦争</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">日露戦争</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">鹿鳴館</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">八幡製鉄所</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">徴兵令</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">地租改正</div> </div> <p style="text-align: right;">など</p> <p>(2)調べたことを個人で視点ごとに図に分類する。 自分なりに分類し,事実グループをつくる。</p>	<p>調べてきた事実は見やすくするために,共通したマス目入りのカードに15字以内で事実を書かせる。</p> <p>「陸奥宗光・小村寿太郎の努力」意外に条約改正できたのは日本が近代化したからという観点を確認する。</p>

4 本時 事実を整理した図を使って話し合う場面 (8/11)

平成20年11月17日(月) 第5校時

5 本時の目標

日本が、近代化の遅れをとりもどすために、どのようなことをしたのかについて話し合い、事実とのつながりを確かめ図に整理することができる。

6 本時指導の考え方

前時までに児童たちは「学習問題」陸奥宗光と小村寿太郎はなぜ条約を改正することができたのだろう。」について、それぞれの予想から陸奥宗光・小村寿太郎の努力の背景にあった「日本の近代化」について調べ学習を行い、カードに15字以内で書き表した事実を自分なりに分類を行ってきた。

本時学習では、まず、代表児の図をもとに、これまで得た事実と近代化の遅れをとりもどすことがどのようにつながっているのかを全体で話し合う。

次に、代表児の図に事実の付け加えを行い、事実と近代化の遅れをとりもどすこととのつながりを念入りに検討する。

最後に黒板の整理した図をもとに自分の図を付加・修正し、事実の整理を行っていく。そこで、本時指導にあたっては、次のような手だてをとる。

図を活用し、事実と近代化の遅れをとりもどすこととのつながりを念入りに検討する交流活動の工夫

まず、代表児の図を説明させ、自分の図を構成している事実について比較させながら付け加えることができる事実がないかについて話し合う。

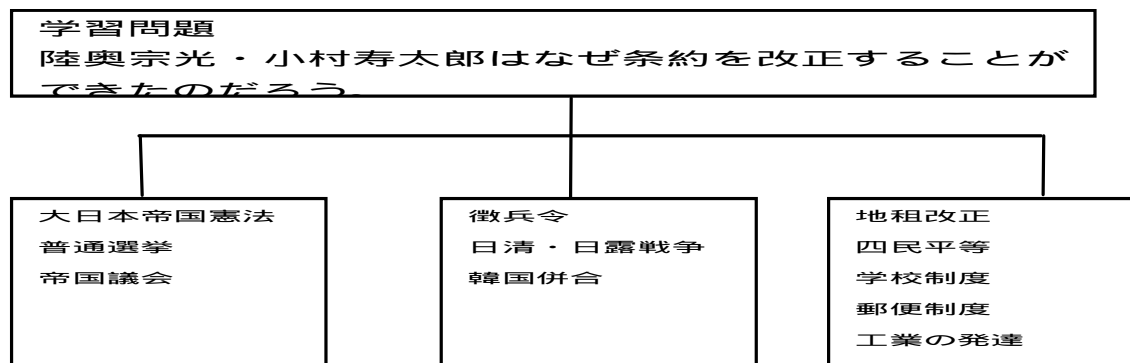
次に、代表児の説明に対して質問を行わせる。質問がでない時は、「本当にこの事実が近代化の遅れをとりもどすことにつながるのですね。」という問いかけを行いつながりの確認を行う。その後、代表児の図に事実の付け加えを行い、「なぜ、この事実が近代化の遅れをとりもどすこととつながるのか。」を中心の発問とし、一つ一つの事実について念入りに検討をしていく。

さらに、黒板の整理した図と自分の図とを比較して、近代化の遅れをとりもどすことに対する事実について付け加えたり、修正したりさせる。その際、付け加えや修正が視覚的にとらえやすい世に赤で付け加えや修正を行わせる。

最後に、授業前の自分の図と本時話し合いで完成した図とを比較させながら、近代化の遅れをとりもどすことに対する事実がどのように整理できたかについて自分の事実認識の変容を書かせる。

板書計画

条約改正と陸奥宗光・小村寿太郎 めあて 近代化の遅れをとりもどすために、どのようなことをしたのか図に整理しよう。



7 本時の展開

主な学習活動と内容	テーマ・主張点とのかかわり
<p>1. 本時めあてを確認する。 めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>近代化の遅れをとりもどすために、どのようなことをしたのか図に整理しよう。</p> </div> <p>2. 代表児の図をもとに、事実と近代化とのつながりについて話し合う。 代表児の図</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>学習問題 陸奥宗光・小村寿太郎はなぜ条約を改正することができたのだろう。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; text-align: center;"> <p>大日本帝国憲法</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; text-align: center;"> <p>日清・日露戦争 徴兵令 韓国併合</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; text-align: center;"> <p>地租改正 工業をさかんに 文明開化</p> </div> </div> <p>・代表児の説明について質問を行う。</p> <p>・代表児の事実につけ加えを行う。 普通選挙 帝国議会 四民平等 学校制度 郵便制度</p> <p>3. 板書の整理した図をもとに自分の図の修正を行う。</p> <p>4. 「今日の学習で」を書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>わたしは、近代の遅れをとりもどすために、国の仕組みとして大日本帝国憲法しか考えていなかったけれど、今日整理をしてみて、帝国議会や普通選挙も近代の遅れをとりもどすために重要な事実であることがわかり付け加えを行いました。</p> </div>	<p>調べた事実と近代化の遅れをとりもどすこととのつながりを根拠を指し示しながら発表できるようにするために、児童が調べた事実に関する資料や年表を掲示しておく。</p> <p>質問が出ない場合は、事実と近代化の遅れについて教師が問いかけ念入りに確かめる。</p> <p>調べた事実と近代化の遅れをとりもどすこととのつながりを明確にさせるために、「なぜ、この事実が近代化の遅れをとりもどすこととつながるのか。」という発問を行い、事実を検討しながら、教師が板書に整理していく。</p> <p>近代化の遅れをとりもどすことに対する事実について付け加えたり、修正したりするために、自分の図に赤で修正を行わせる。</p> <p>「今日の学習で」に、近代化の遅れをとりもどすことに対する事実がどのように整理できたかを書けるようにするために、修正したところしなかったところに視点をおき、自分の事実認識の変容を書かせる。</p>